

議決権行使レポート

証券コード 6364

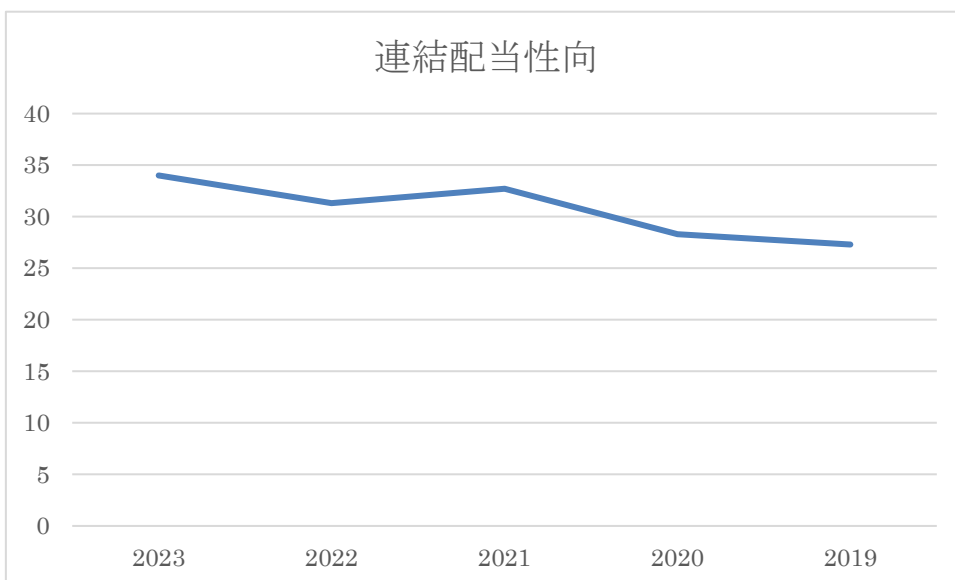
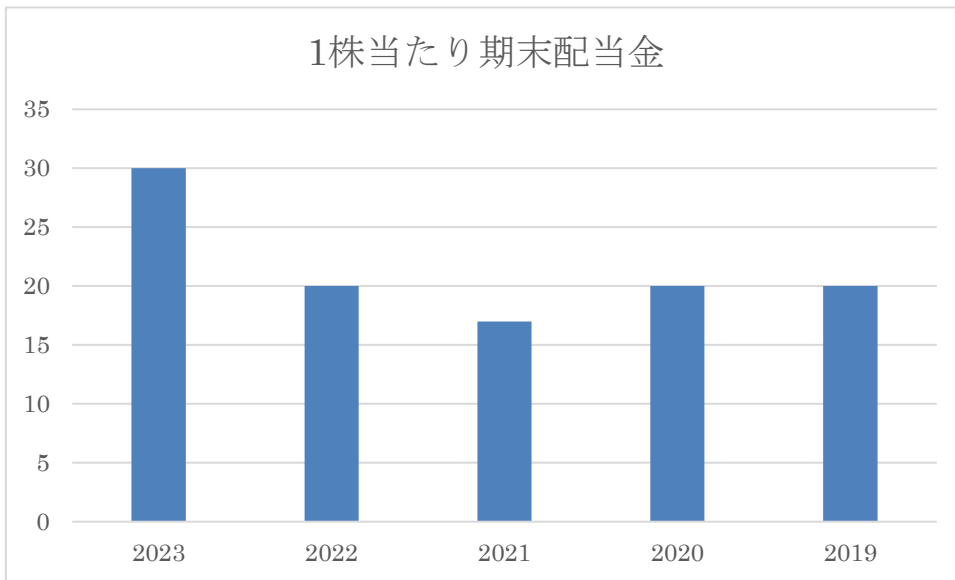
会社名 北越工業

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分	○		
第2号議案 取締役（監査等委員を除く）選任			
堀内 義正 氏	○		
佐藤 豪一 氏	○		
金子 克 氏	○		
長沢 徳巳 氏	○		
第3号議案 取締役（監査等委員）選任			
金井 潤一 氏	○		
小池 敏彦 氏	○		
鈴木 孝昌 氏	○		
齋藤 貴加年 氏	○		
第4号議案 取締役（監査等委員を除く）及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度改定	○		
第5号議案 取締役（監査等委員）に対する株式報酬制度改定	○		

上記の推奨をした理由

○第1号議案 剰余金処分

1株当たり期末配当金を、過去5年間で最高水準である30円、総額857291520円とすることに賛成する。



北越工業は、昨年度に続き増収増益を達成した上で、連結配当性向も近年上昇傾向を見せ今期では過去5年間で34.0%と最高水準を記録している。このことから、上昇した利益をその出資金の株主に還元する意識の高さが窺えるという考えのもと、賛成する。

○第2号議案 取締役（監査等委員を除く）選任

・堀内 義正 氏

40年余りの北越工業での業務経験及び7年という他の候補者と比べ非常に長い取締役在任年数、近年の同社の堅調な増収増益を鑑みて、取締役の再任に適していると考えられる。

・佐藤 豪一 氏

サービス部門であるグループ会社の経営者を務めてきた経験及び同社における豊富な業

務経験のもと、近年増収増益を見せ、財務状況の安全性に優れる同社の管理部門の総責任者を務めており、来期における成長の維持が期待できる。

・金子 克 氏

生産部門の総責任者を務め中期経営計画「中期ビジョン 2024」の初年度を牽引し、売上高や経常利益は最終年度とした 2024 年度の目標値を上回る業績を達成、また近年注目されているエコフレンドリーな製品として脱炭素向け新製品開発に貢献するなど、中長期的な同社の成長に貢献する働きを見せ、来期における更なる成長に期待がかかる。

・長沢 徳巳 氏

同社における豊富な業務経験と営業業務全般に関する深い知見を有していることから、営業部門の総責任者として来期の活躍が期待できる。

○第 3 号議案 取締役（監査等委員）選任

・金井 潤一 氏

同社の生産本部や内部監査室等の要職を歴任してきた経験や、他の候補者は有していない生産または調理部門での経験があり、多様な視点や立場から意見を述べる事が期待できる。

・小池 敏彦 氏

弁護士としての経験と知識を有し、同社を社外から客観的に捉え意見を述べる事が期待できる。

・鈴木 孝昌 氏

大学教授としての経験と知識を有し、小池氏と同様の理由から。しかし、監査等委員会への欠席が 1 度記録されていることに対しては、やや懸念が残る。

・齋藤 貴加年 氏

公認会計士としての経験と知識を有し、会計という企業経営において必須の事項を社外から客観的に分析し監督することが期待できる。

○第 4 号議案 取締役（監査等委員を除く）及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度改定

取締役の報酬と同社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主と共有することで、従来以上に企業価値向上に向けて取り組み、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献することが期待できる。

○第 5 号議案 取締役（監査等委員）に対する株式報酬制度改定

同社の監査等委員に対して、同社の経営の健全性と社会的信頼の確保を通じた社会的評価の向上の動機づけが期待でき、従来以上に適切に業務を遂行し、企業価値向上に向けて取り組むことが予期できる。